

総合かぜ薬

第②類医薬品

# スルーロンEX顆粒プラス

かぜの初期症状は鼻水、鼻づまりに始まって、せき、頭痛、悪寒、発熱等を伴います。スルーロンEX顆粒プラスはこのようなかぜの諸症状を早く緩和するよう、解熱鎮痛薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン薬等を配合した総合かぜ薬です。

## ⚠ 使用上の注意

### してはいけないこと



(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる)

1. 次の人は服用しないでください

- (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
- (3) 12歳未満の小児。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください  
他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮咳去痰薬、抗ヒスタミン剤を含む

有する内服薬等(鼻炎用内服薬、乗物酔い薬、アレルギー用薬等)

3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください

(眠気等があらわれることがあります。)

4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳を避けてください

5. 服用前後は飲酒しないでください

6. 長期連用しないでください

### 相談すること



1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3) 水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
- (4) 高齢者。
- (5) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6) 次の症状のある人。  
高熱、むくみ、排尿困難
- (7) 次の診断を受けた人。  
甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障、呼吸機能障害、閉塞性睡眠時無呼吸症候群、肥満症

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

| 関係部位  | 症 状         |
|-------|-------------|
| 皮膚    | 発疹・発赤、かゆみ   |
| 消化器   | 吐き気・嘔吐、食欲不振 |
| 精神神経系 | めまい         |
| 泌尿器   | 排尿困難        |
| その他   | 過度の体温低下     |

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

| 症状の名称                                                 | 症 状                                                                                        |
|-------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|
| ショック<br>(アナフィラキシー)                                    | 服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。                                |
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(スティーブンス・ジョンソン症候群)、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症 | 高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。 |
| 薬剤性過敏症<br>症候群                                         | 皮膚が広い範囲で赤くなる、全身性の発疹、発熱、体がだるい、リンパ節(首、わきの下、股の付け根等)のはれ等があらわれる。                                |
| 肝機能障害                                                 | 発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。                                          |
| 腎障害                                                   | 発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。                                            |
| 間質性肺炎                                                 | 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。                         |
| 偽アルドステロン<br>症、ミオパチー                                   | 手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。                                            |
| ぜんそく                                                  | 息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。                                                          |
| 再生不良性貧血                                               | 青あざ、鼻血、歯ぐきの出血、発熱、皮膚や粘膜が青白くみえる、疲労感、動悸、息切れ、気分が悪くなりくらくらとする、血尿等があらわれる。                         |